

# 常任委員会の審査から

## 農林水産委員会

### ジェトロ茨城と連携した輸出拡大の取り組みは海外商談会への出展支援や海外バイヤーの招へいに取り組み

**問** 六月に開所したジェトロ茨城との連携による本県産農産物の輸出拡大の取組状況と今後の予定は。

**答** セミナー開催や海外バイヤーの招へい、マレーシアでの商談会への出展支援などを実施した。今後はタイ、ベトナムでの商談会への出展支援や、来年三月の国際見本市で来日する海外バイヤーの県内招へいなどに取り組みしていく。

**問** 六次産業化の取組みは農業法人などで多いが、個別農家に対する支援は。



海外バイヤーへ商品の説明をしている様子

**答** 六次産業化サポートセンターを設置し、相談・指導を行っている。また、商品づくりや販売戦略などを学ぶ講座の開催や加工・販売施設の整備への支援のほか、六次産業化の取組みを啓発する研修会などを開催していく。

## 総務企画委員会

### 今後、特に利用促進に取り組み茨城空港の路線は特に福岡便の路線定着に取り組み

**問** 茨城空港における各路線の搭乗率の状況を踏まえ、今後、特にどの路線の利用促進に取り組みが必要かと思われるのか。

**答** いずれの路線も搭乗実績を向上させ、路線の定着を図る必要があるが、特に四月に就航した福岡便の利用促進を図るため、ビジネス利用やツアー造成の働きかけなどに全力で取り組んでいく。

**問** 自動車税の納期限内での納付に向けた取り組みは。

**答** JR駅前や大型商業施設での街頭キャンペーンなどPRを強化してきたほか、口座振替制度について、今年度か



本年4月に就航した福岡便の就航記念セレモニーの様子

ら自動車販売店において自動車購入時に勧奨してもらったなど、利用率の向上を図っていく。

(ほかに、企業などにおける女性の積極的登用、霞ヶ浦自転車道などを利用するサイクリストへの情報提供も質問)

## 土木企業委員会

### 地元業者の育成に向けた入札制度の改善策は総合評価入札方式※の一層の推進を図る

**問** 土木企業委員会では、災害対応等に貢献する地元業者の育成などの観点から、県とともに入札制度に関する意見交換を行ってきた。それらを踏まえ、今後どのような対応を図っていくのか。

**答** 総合評価入札方式は、地元業者の受注機会の拡大傾向がみられるため、一層の推進を図るとともに、評価内容についても、関係団体などの意見を踏まえた国の指針を参考に直直しを進めていく。

**問** 土砂災害警戒区域の指定状況と今後の見通しは。

**答** 県内の危険箇所四千七百九箇所のうち、約五十四箇所の



委員会より土木部・企業局に対し、地元業者の育成などを要請

指定が完了している。残る箇所については、来年度内に基礎調査を完了し、住民への説明などを経て、平成二十八年度までの指定完了を図る。

(ほかに、滝下橋の事故対応市町村も含めた水道管の耐震化推進なども質問)

## 防災環境商工委員会

### 広域避難計画の課題への対応は県外避難先市町村などについて検討を進める

**問** 広域避難計画を今年度末に策定すると聞いているが、その課題と対応は。

**答** 課題は、県外の避難先市町村の決定、スクリーニングの実施方法、安定ヨウ素剤の配布方法、要配慮者の避難方法などがある。今後、国や関係機関と調整の上、まず避難先市町村を決定し、スクリーニングや要配慮者の避難方法などについても一つ一つ取り組んでいく。

**問** 貴重な観光資源の一つである海水浴で観光客数が減少している。今後の対策は。



広域避難計画における避難先案

**答** 今年度は新たに埼玉・栃木・群馬を中心にキャンペーンを行い、映画館でのPRや駐車場半額券の配布などを実施した。今後は、これらの効果を検証し、さらに有効な対策を検討する。

(ほかに、溜沼のラムサール条約登録、中小企業のBCP策定なども質問)

## 文教警察委員会

### 全国テストの結果をどう改善するのか現場などと協議し、対応策を検討する

**問** 全国学力・学習状況調査の結果をみると、中学校の数学に課題があるようだが、今後どう改善していくのか。

**答** 基礎基本をしっかりと身に付けさせるとともに、考える力を育成する授業を構築するなど、数学の授業をどう変えていくかが重要であるため、中学校の校長などと協議し、対応策を検討していきたい。

**問** 市民の体感治安を高める対策として、急増しているコンビニ強盗など重要犯罪の犯人検挙への対応は。



数学の授業の改善を

**答** 捜査員を大量に動員し、緊急配備や検問、科学捜査を駆使した鑑識活動などの初動

捜査を推進するほか、防犯カメラを活用し、犯人の画像などをホームページや防犯メールなどを通じて公開し、情報の提供を呼びかけている。

(ほかに、捜査に関する他県警察との連携、女性職員の採用と管理職登用なども質問)

## 保健福祉委員会

### 県立中央病院の救急スタッフ強化の必要は限られた医療資源の中で病院全体で対応していく

**問** 県立中央病院では多くの救急患者を受け入れているが、救急スタッフが疲弊し体調を壊す者もいると思われる。強化が必要ではないか。

**答** 当直医に加え各診療科で緊急時の呼出し待機体制をとるなど病院全体で対応している。県民にも救急車の適正利用など救急医療の重要性を理解いただきながら限られた医療資源の中で努力していく。

**問** 高齢者優待カードの配布対象者は、六十五歳以上の約三十万人とのことだが、県内には約七十四万人の六十五歳以上の方がいる。できるだけ多くの方に配布できないか。



救急患者受け入れの様子(県立中央病院)

**答** 今後のPRでは、配布対象を六十五歳以上の希望者全員としたい。一人暮らしの方には民生委員に協力願うなど、広く配布するよう努めたい。

(ほかに、デング熱対策、子宮頸がん予防ワクチンの問題なども質問)

ことば ※【総合評価入札方式】…価格と価格以外の要素(品質など)を総合的に評価して落札者を決定する方式。